

## I 戦後 77 年を考える

8月6日広島、8月9日長崎で77回目の平和祈念式典が開かれました。両市の平和宣言では、ロシアによるウクライナ侵攻下「核兵器使用の危機」に直面し、核抑止論を非難しています。8月15日政府主催の全国戦没者追悼式で「岸田首相は就任後初めて式辞を述べ、アジア諸国への加害責任に触れなかった。」（西日本新聞8月15日夕刊より）と掲載されていました。ウクライナでの戦争は、「ロシアが突然侵攻してきた、ロシアの加害責任は」と言いがちですが、プーチン大統領の行為にいたる前の西側の外交はどうなっていたかを考える必要があります。「戦争はよくない」というのは当然のことですが、そうならないようにするのが外交努力で武装化ではありません。戦争被害者側の視点からの報道だけが目立ちがちですが、開戦に向かって突き進んだのは軍部だけではなかったことも自覚しなければなりません。本研究所ホームページ新谷恭明理事長『羅針盤Ⅱ』が指摘しています。ぜひご覧ください。

## II 研究所の部会・講座のお知らせ

### 1 第3回ジェンダー部会 森崎和江『からゆきさん』を読む 学習会 (本は各自でご準備ください)

日時：9月4日(日) 14:00~16:00

会場：公益社団法人福岡県人権研究所(博多区吉塚合同庁舎4階)

### 2 『全国水平社・全九州水平社設立百周年講座～部落解放運動100年のはじまり』

日時：2022年9月11日(日) 14:00~16:00(13:30開場)

会場：嘉麻市碓井住民センター大ホール(嘉麻市上碓井446-1)

内容：提起1 改善運動から水平運動へ 首藤卓茂さん  
提起2 花山清手紙関連 関儀久さん

### 3 2022年度「啓発担当者のための人権講座」

日時：2022年10月3日(月)12:30(受付)13:00~16:30

会場：福岡市中央市民センター大ホール(会場開催と同時にライブ配信も行います)

内容：①講演 「ネット人権侵害と部落差別の現実」

講師 川口泰司さん(一般社団法人山口県人権啓発センター事務局長)

②報告 「(仮)福岡県におけるインターネット・モニタリング事業について」

報告者 福岡県人権・同和対策局職員

③質疑・意見交流

< \*各部会・講座の詳細については、ホームページをご覧ください。 >

## III 会員からの知らせ

「インターネット差別動画を考える～第2回市民集会～」

主催：福岡 人権・共生をめざす会

日時：8月27日(土) (受付)9:30 10:00~12:00

会場：ももちパレス(福岡県立ももち文化センター)小ホール

問合せ：首藤卓茂 電話 092-804-4706 FAX092-834-6474

<会員登録がまだお済みでない方はHPからお願いします>

ホームページ <https://www.f-jinken.com/>

email [info@f-jinken.com](mailto:info@f-jinken.com) (登録解除はこちらへ)

〔人権研究所の本〕

新谷恭明『校則なんて大嫌い！－学校文化史のおきみやげ－』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とは－』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年 』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

☆お求めは⇒<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

ニュース担当：峰